

# 東電・柏崎刈羽原発のID不正使用

## ロッカーから無断持ち出し

# 複数回なりすまし

東京電力柏崎刈羽原発（新潟県）で起きたIDカードの不正使用に関して、IDを不正使用した東電社員は、繰り返しIDの所有者である別の社員の氏名を名乗るなどして、中央制御室に入室していたことが8日、原子力規制庁の説明で分かりました。

規制庁によると、柏

崎刈羽原発の中央制御室勤務の東電社員が、昨年9月20日朝に個人ロッカーに保管してあったIDカードが見つかったIDカードが見つからなかったことから、当日は勤務のなかった他の社員の無施錠のロッカーからIDを無断で持ち出しました。

同社員は、周辺防護区域の出入り口警備員に対して無断で持ち出したIDの持ち主の氏名を複数回名乗り通過していましたが、また、防護区域の出入り口では認証が複数回エラーとなり、警備員が登録顔写真との相違などに疑念を持ちながら、そ

れ以上の身分確認をせず扉を開きました。不正をおこなった社員は同日夜、自身のロッカーの奥に自分のIDが落ちていたのを発見しましたが、無断借用したIDを元に戻しました。しかし、翌日の朝、IDを無断借用された社員が防護区域に入ろうとしてエラーが発生したことで、前日の不正使用が発覚しました。

また、原子力規制委員会は同日の臨時会合（非公開）で、今回の不正使用の重要度について、安全確保の機能または性能への影響があるとして、4段階の評価で重大な方から3番目の「白」と暫定評価しました。「白」評価は、事業者の自主的措置ではなく、規制の関与の下での改善を図るべき水準とされ、追加の検査などがされます。同評価は、東電から15日までに回答がなかった場合は最終評価となります。

また、原子力規制委員会は同日の臨時会合（非公開）で、今回の不正使用の重要度について、安全確保の機能または性能への影響があるとして、4段階の評価で重大な方から3番目の「白」と暫定評価しました。「白」評価は、事業者の自主的措置ではなく、規制の関与の下での改善を図るべき水準とされ、追加の検査などがされます。同評価は、東電から15日までに回答がなかった場合は最終評価となります。

### 「全国の前発で点検が必要」

#### 電力会社元幹部が指摘

東京電力柏崎刈羽原発のIDカード不正利用問題について原発業界に詳しい電力会社元幹部は「原子力規制委員会、東電の認識がまったく甘い。大問題だ」と指摘します。

この元幹部は、原発の中央制御室には運転員以外にも、メンテナンスの朝、IDを無断借用された社員が防護区域に入ろうとしてエラーが発生したことで、前日の不正使用が発覚しました。

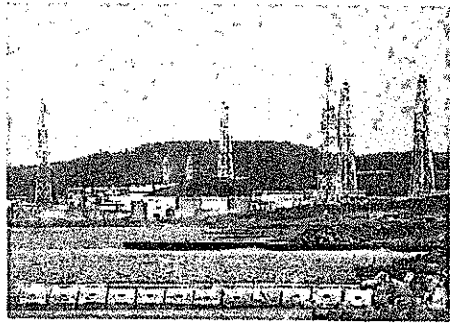
東京電力柏崎刈羽原発のIDカード不正利用問題について原発業界に詳しい電力会社元幹部は「原子力規制委員会、東電の認識がまったく甘い。大問題だ」と指摘します。この元幹部は、原発の中央制御室には運転員以外にも、メンテナンスの朝、IDを無断借用された社員が防護区域に入ろうとしてエラーが発生したことで、前日の不正使用が発覚しました。

規制委に不正が伝わらぬまま柏崎刈羽原発の再稼働の「適格性」が認められた問題については、「規制委の認定はいいかげんだと言われても仕方ない。本当にまずいことをした」と批判します。

### 東京電力柏崎刈羽原発でのIDカード不正使用問題の経緯

2020年9月20日	柏崎刈羽原発の中央制御室で他人のIDカード使用で不正入室が発生
21日	東電社内の核セキュリティ部門が把握、原子力規制庁の核セキュリティ部門に報告
23日	原子力規制委員会が東電の保安規定変更案を了承、「適格性」を認める
12月21日	規制委と東電経営層の意見交換
2021年1月19日	規制庁が規制委の更田豊志委員長に報告
23日	東電が不正入室問題についてコメント
26日	規制庁が、委員全員が集まった臨時会議で報告

※東電、更田委員長の会見などを基に作成



東京電力柏崎刈羽原発